

作成年月日	平成28年9月13日
作成部局 課室名	健康福祉部健康局 医務課

## G7神戸保健大臣会合の開催結果

去る9月11日（日）、12日（月）、G7神戸保健大臣会合が神戸ポートピアホテルで開催されました。

兵庫県・神戸市・経済団体等からなる「G7神戸保健大臣会合推進協議会」では、G7神戸保健大臣会合にあわせて、兵庫・神戸の魅力や神戸医療産業都市などの取組みを発信しました。

### 1 G7神戸保健大臣会合の開催結果について

(1) 日 程 平成28年9月11日（日）、12日（月）

(2) 場 所 神戸ポートピアホテル

(3) 参加国



(G7神戸保健大臣ロゴ)

#### ① G7各国及びEU

- ・日本 厚生労働大臣 塩崎 恭久
- ・カナダ 保健大臣 ジェーン・フィルポット
- ・フランス 社会問題・保健・女性の権利大臣 マリソル・トゥーレーヌ
- ・ドイツ 連邦保健大臣 ヘルマン・グレーエ
- ・イタリア 保健省副大臣 ヴィート・デ・フィリッポ
- ・英国 公衆衛生・技術革新担当政務次官 ニコラ・ブラックウッド
- ・米国 保健福祉省 地球規模課題次官補 ジミー・コルカー
- ・EU 保健衛生・食の安全担当委員 ヴィテニス・アンドリュカイティス

#### ② アウトリーチ国

- ・ラオス 保健大臣 ブンコーン・シーハーウオン
- ・ミャンマー 保健スポーツ大臣 ミン・トウエ
- ・シガポール 社会・家庭振興大臣 タン・チュアンジン
- ・タイ 保健大臣 ピヤサコン・サコンサタヤトン

#### ③ 関係国際機関

- ・WHO 事務局長 マーガレット・チャン
- ・WPRO WHO西太平洋地域事務局長 シン・ヨンス
- ・OECD 雇用労働社会政策局長 ステファノ・スカルペッタ
- ・世界銀行 保健・栄養・人口担当上級局長 ティム・エバンス
- ・OCHA 神戸事務所長 渡部 正樹

#### ④ 民間ファンド

- ・ビル&メリンダゲイツ財団 ガネシュ・ラマクリシュナン
- ・ウェルカム・トラスト ジェレミー・ファラー

#### ⑤ 規制当局

- ・PMDA 理事長 近藤 達也

#### (4) 議論の概要（「神戸コミュニケ」の主な内容）

##### ①公衆衛生危機に対する国際保健の枠組み強化

- ・ WHO 及び OCHA（国連人道問題調整事務所）による分野横断的な連携を定めた危機時の標準手順書策定の進捗を歓迎

- ・ WHO 緊急対応基金及び世界銀行のパンデミック緊急ファシリティ等の更なる促進

##### ②ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）※の達成及び高齢化に焦点を当てた生涯を通じた健康増進

- ・ UHC 達成に向けた新たな支援のためのプラットフォームの立ち上げを歓迎

- ・ 第6回アフリカ開発会議における「“UHC in Africa”の立ち上げを歓迎

- ・ 健康で活動的な高齢化に備えた保健システムの確立

- ・ 認知症高齢者等に優しいコミュニティ、認知症サポーターの便益・効果を含む研究を奨励

##### ③薬剤耐性（AMR）

- ・ 2016年の国連総会におけるAMRに関するハイレベル会合に向けて協力

##### ④研究開発（R&D）とイノベーション

- ・ 官民連携強化及びAMRや顧みられない熱帯病等の分野における研究投資のマッピングの実施

※ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）：誰もが負担可能な費用で必要な医療や保健サービスを受けることができるシステム

## 2 G7神戸保健大臣会合推進協議会の主な取組み

### (1) ひょうごKOBEL医療健康フェアの開催

G7神戸保健大臣会合開催にあわせて、本県が進める福祉医療機器の開発・普及や神戸医療産業都市などの展示を通じて、県民が医療・健康について考える契機となる同フェアを開催

①日 時 平成28年9月8日(木)～11日(日) 午前10時～午後5時

②場 所 神戸国際展示場3号館

③来場者数 約22,400名(延べ4日間)

④開催結果 福祉のまちづくり研究所の福祉医療機器や、神戸医療産業都市のiPS細胞の展示など本県の医療健康への取り組みについて、多くの県民の関心を集めた。また、医療関係団体による健康イベント、兵庫・神戸の観光・グルメコーナーにも多くの人が集まった。



人気コーナーとなった県民向け健康イベント  
(写真は日本赤十字社兵庫支部 AED 講習会)

## (2) 歓迎レセプションの開催

大臣会合の最初のイベントとして開催地としての最大限のおもてなしをするため、兵庫・神戸が誇る酒や海の幸・山の幸をふんだんに使用した料理を提供するとともに、産業や文化、歴史など兵庫が持つ魅力や強みを各国大臣にPR

- ①日 時 平成 28 年 9 月 11 日 (日) 午前 11 時～午後 0 時 30 分
- ②場 所 相楽園会館
- ③出 席 者 1 7 1 名 (G 7 神戸保健大臣会合出席者、地元関係者)
- ④実施結果

こうべ小学校の児童 126 名の旗振りによる歓迎は、各国大臣の好評を得たほか、こうべ小学校児童全員で描いた世界一大きな絵の展示が歓迎ムードを盛り上げた。開会の挨拶をかねて知事が兵庫・神戸をPR。兵庫・神戸の食材を使用した料理も好評を得た。



子どもたちの出迎えを受けるチャンWHO事務局長

## (3) 地元主催エクスカージョンの開催

阪神・淡路大震災の経験を世界に伝えていくため、G 7 大臣等を対象に人と防災未来センターの視察を実施。

- ①日 時 平成 28 年 9 月 11 日 (日) 午後 6 時～午後 7 時 30 分
- ②参 加 者 2 6 名 (各国視察団)
- ③場 所 人と防災未来センター
- ④実施結果

1. 17 シアターの映像で阪神・淡路大震災の衝撃を体感していただいた後、ジオラマ展示、震災直後から復興までの歩みを知っていただく展示コーナーを見学いただいた。特に地震直後の街並みを再現したジオラマ展示では、参加者の多くが地震直後の神戸の被害状況について熱心に耳を傾けておられた。



震災直後の街並みを再現したジオラマを見学する各国視察団

## (4) 神戸医療産業都市の取組みの発信

日本初のライフサイエンス (健康科学) 分野のクラスター (集積地) である神戸医療産業都市の取組みや成果をG 7 国等にPR、兵庫県のものづくりの強みへの理解と興味を醸成するため、神戸医療産業都市の視察を実施。

- ①日 時 平成 2 8 年 9 月 12 日 (月)
- ②参 加 者 5 6 名
- ③視 察 先 理化学研究所多細胞システム形成研究センター (再生医療等)、計算科学研究機構 (スーパーコンピュータ「京」の運用)、株式会社メディカロイド (医療用ポットの開発)、シスメックス株式会社 (研究所視察)

### 3 G7神戸保健大臣会合の成果の継承

会合で得られた成果を県民・市民に還元し、兵庫・神戸の未来につなげていく取り組みを実施していきます。

#### (1) 次代を担う人材の育成等（講演会、シンポジウム等）

震災を機に神戸に集約した国際機関と連携し、次代を担う保健医療人材の育成や国際感覚を持った青少年の育成につなげる取り組みを推進

#### (2) 保健医療に関する国際会議の開催（ISPO(国際義肢装具協会)世界大会 2019 のイベント実施等）

会合を通じて高まった国際的な保健医療への関心を、次に神戸で開催される国際会議へとつなげる取り組みを推進

問い合わせ先 健康福祉部健康局医務課企画調整班 078-362-9124

## G 7 神戸保健大臣会合閉幕にあたって

9月11日、12日の2日間にわたり開催されたG 7神戸保健大臣会合が、無事閉幕しました。これも多くの方々からの温かいご支援とご協力のおかげであり、心から感謝します。

G 7神戸保健大臣会合では、G 7と欧州連合をはじめ、多くの国、公的・民間機関によって、感染症対策、保健医療へのアクセス、薬剤耐性への対策などへの課題に対してそれぞれの状況と将来見通しの上になんて意見交換が行われ、先ほど、「神戸コミュニケ」が発表されました。兵庫・神戸におけるG 7神戸保健大臣会合を契機として、今後の国際的な保健医療課題の解決に資することを期待します。

「神戸コミュニケ」では、2025年問題を抱える我が国において関心の高い「高齢化に備えた保健システムの確立」や、「認知症高齢者等にやさしいコミュニティ、認知症サポーターの便益・効果を含む研究奨励」が盛り込まれました。兵庫県は、今回の「神戸コミュニケ」に盛りこまれた知見も踏まえ、これからも全国に先駆けた取り組みを進めていきます。

平成28年9月12日

G 7神戸保健大臣会合推進協議会会長

兵庫県知事 井戸敏三

## G7神戸保健大臣宣言「神戸コミュニケ」の概要

### 1. 公衆衛生危機に対するグローバル・ヘルス・アーキテクチャー（国際保健の枠組み）の強化

- 世界保健機関（WHO）及び国連人道問題調整事務所（OCHA）による分野横断的な連携を定めた、危機時の標準作業手順策定の進捗を歓迎。
- 新たなWHO事務局次長の任命を歓迎。同人のWHO改革実行のリーダーシップに期待。
- WHOの緊急対応基金（CFE）及び世銀のパンデミック緊急ファシリティ（PEF）等の支持。
- 危機に備え対応するための人材育成継続、WHOとの緊密な連携を拡大。
- 各国の国際保健規則（IHR）の履行及びIHRコア能力への取り組みを含む保健システム計画強化、最適な域内連携、相乗効果確保、WHO合同外部評価（JEE）の実施の努力を支援。

### 2. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成と高齢化を焦点とする生涯を通じた健康の推進

#### [ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ]

- UHC達成に向けた国際的な取組みを調整・強化するプラットフォーム（IHP for UHC2030）の立ち上げを歓迎。
- 第6回アフリカ開発会議（TICADVI）で発表された「アフリカにおけるUHC」の立ち上げを歓迎。

#### 健康で活動的な高齢化に備えた保健システムの確立

- WHO及び経済協力開発機構（OECD）による高齢化社会とUHCに関する報告を称賛。
- 今後高齢化を迎える国々において基礎的な住民登録・人口動態統計（CRVS）等の有用性を認識。
- 2016年のWHO総会での高齢化戦略・行動計画採択を歓迎。各国の高齢化施策を支援。
- 生活習慣病等の非感染症疾患（NCDs）の早期予防の重要性を確認。

#### 認知症

- 認知症高齢者等に優しいコミュニティ、認知症サポーターの便益・効果を含む研究を奨励。
- 2017年のWHO総会における認知症に関する行動計画の起草のためにWHOと協働。

### 3. 薬剤耐性（AMR）

- 政治的コミットメントを加速。2016年国連総会AMRハイレベル会合に向けて協力。
- 国際開発と管理の枠組みの策定のため、WHOを支援。中低所得国の能力強化支援。
- 日米欧の医薬品規制調和国際会議（ICH）等における国際薬事規制調和についての協働を歓迎。

### 4. 研究開発（R&D）とイノベーション

- 各国の状況に留意しつつ、医薬品等へのアクセス等と保健システムの持続性等の課題を認識。
- 官民連携強化及びAMRや顧みられない熱帯病等の分野に対する投資のマッピングの実施。